

交通安全だより

松浦警察署

子供の交通事故防止

松浦市内では昨年、子供が被害に遭う交通事故が2件発生しています。

子供たちが交通事故の被害者とならないよう、保護者が交通安全の模範を示し、子供たちに対して日頃から交通ルールを守ることの大切さを繰り返し伝えることが重要です。

子供に対する安全教育のポイント

- 1 「飛び出し」の危険性と「止まる」ことの大切さについて指導しましょう。
- 2 道路を横断するときは、最低限必要な「止まる・見る・待つ」ことを習慣づけるように指導しましょう。
- 3 御両親が最も身近なお手本です。交通ルールを守って通行しましょう。



★ 保護者の皆様へ ★

1 安全確認の徹底

信号に従っていても、横断歩道を渡っていても、必ずしも安全ではありません。

右折や左折をする車、信号の変わり目で無理矢理交差点に進入してくる車、横断中の歩行者に気がついていない車などがあるかもしれません。

必ず、左右の安全を確認して、車が止まっているか、運転手が自分に気付いているかなどを確認してから渡るように指導してください。



2 子供から目を離さない

子供の事故では、保護者と一緒に道路を渡ろうとして、保護者の後を追いかけて車にひかれて亡くなったという悔やみきれない交通事故が発生しています。

買い物の途中、幼稚園の送迎時、帰宅時に子供を降車させた直後などは、子供から目を離さないでください。